

◆ 小中連携の推進

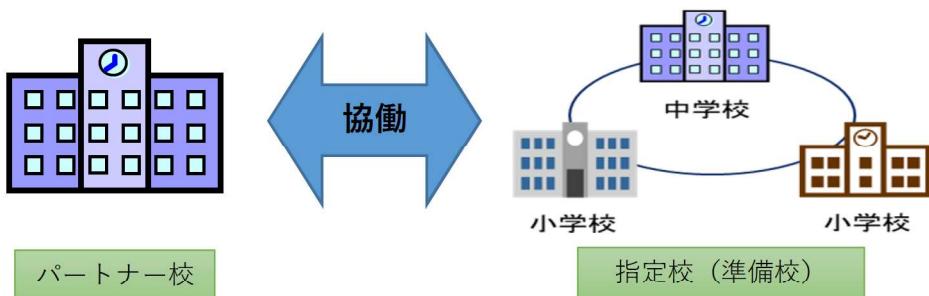
学びのトランスフォーメーション推進事業 【学校種間連携サポート事業】

事業趣旨

中学校区における育成を目指す資質・能力の設定及び小・中学校の教職員・保護者・地域住民による共有、小・中学校9年間を通じた教育課程の編成・実施等、地域の実情に応じた小中一貫教育の導入及び円滑な実施への取組を支援し、学校種間連携による教育の質の向上を図る。

事業内容

- 義務教育学校又は小中一貫校の設置・導入予定、又は設置・導入している市町村及び学校を指定
- 指定校（準備校）の課題や取組の重点を考慮し、道教委が道内先進校から、パートナー校を決定
- 指定校（準備校）は、パートナー校と協働して、小中一貫教育の導入及び円滑な実施に向けた取組を推進



- 導入に向けた諸問題の解決や導入後の実践、検証等をサポートするため、全道研修会を開催
 - ・学校教育目標と関連を図った義務教育9年間を通して身に付けさせたい資質・能力の設定
 - ・児童生徒の課題や地域の良さを踏まえた学校教育目標と関連を図った9年間を通じた指導計画の作成
 - ・小中一貫教育を推進するための体制整備、教員研修の実施、家庭や地域と連携した取組等
 - ・道内先進校とのパートナー校制による推進体制の充実

■ 成果・課題

【成果】学校質問調査で「前年度までに、近隣等の中学校〔中：小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をよく行った」と回答した学校の割合は、昨年度と比較し、小学校で増加傾向、中学校で、ほぼ同等である。

【課題】各教科等の年間指導計画等の見直しの推進など、9年間を見通した教育課程の充実に課題。

	校種	R6	R5
前年度までに、近隣等の中学校〔中：小学校〕と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をよく行った」と回答した学校	小学校	30.5%	27.4%
	中学校	35.7%	36.2%

〔実践事例〕

